

【1】第13期事業報告

令和3年度（第13期）事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

1. 事業の成果

都道府県開催の「放課後児童支援員認定資格研修」は、西日本を中心に7県の委託を受け実施することとなり、本会が全国一の受託数であった。今までの放課後児童指導員資格認定事業の実績ゆえの結果であり、放課後児童支援員の専門性の向上に向けて貢献することができた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
■放課後児童指導員資格認定事業						
資格認定講習会	放課後児童育成支援師資格等認定講習会開催	年4日	岡山市内	4人	一般 16人	402
資格認定	資格の認定証発行等	年1回	岡山市内	3人	修了者 15人	179
資格養成課程	大学等へ養成課程カリキュラムの導入	通年	全国各地	2人	大学・短大等	24
資格認定者管理	資格者の管理等	通年	岡山市内	2人	登録会員 1,123人	0
■放課後児童指導員研修事業						
都道府県放課後児童支援員認定資格研修	各地放課後児童支援員研修の受託、講師派遣	年136日	7県 28カ所	84人	自治体等 受講者 1621人	11,625
フォローアップ研修	資格者の再研修及び指導者資格研修	年2回	全国 2カ所	4人	登録会員	0
放課後児童支援員等資質向上研修	放課後児童支援員認定資格研修と資質向上研修を行う	年20日	3県 7カ所	24人	自治体等 受講者 798人	29,192
放課後児童支援員認定資格研修テキスト作成事業	放課後児童支援員認定資格研修で使用するテキストの作成	通年	岡山市内	4人	自治体等 多数	1,472
放課後児童支援員等ガイドブック作成事業	放課後児童クラブ専用ガイドブックの作成(倉敷市と共同発刊)	通年	岡山	6人	登録会員・ 自治体等 多数	276
■放課後児童健全育成事業						
放課後児童健全育成事業	放課後児童クラブの運営を行う	なし	岡山市内	0人	自治体等	0
■その他本会の目的を達成するための事業						
放課後児童クラブ第三者評価事業	放課後児童クラブの運営等についての評価	通年	岡山県 埼玉県	8人	放課後児童 クラブ	396
情報発信メルマガ・WEBサイト	メールマガジンの発行 ホームページの管理	年6回 以上	岡山市内	2人	登録会員他 一般	0

■放課後児童指導員資格認定事業

◀資格認定講習会▶

【目的】

放課後児童育成支援師資格等を認定するための講習会に関わる準備と実施。

【概要・内容】

「放課後児童育成支援師資格」は16名、「放課後児童高度育成支援師資格」は再履修1名の受講者を迎え、それぞれ開催した。「放課後児童専門育成支援師資格」については、新型コロナウイルス感染予防の観点から未開催となった。「放課後児童育成支援師資格」は修了者15名・翌年度再履修者1名、高度育成支援師の再履修1名は辞退、修了者無しとなった。

【成果・課題】

育成はICTを活用し中継で開催し、申込方法についてもホームページ上から申込みフォームを利用できるようにした。ICTを活用した研修については、接続での個別対応、課題の配布や提出の手順等について当初課題があったが、回を追うごとにこちら側も慣れてきた。学ばれた方々の満足度は高い様子だった。ICTの活用により、居住地による受講制限がなくなるため、受講者数の増加に期待が持ててきた。

◀資格認定▶

【目的】

資格認定講習会または養成課程にて修了された方に、認定資格証と資格証カードを発行する。

【概要・内容】

資格認定講習会からは育成支援師15名に、養成課程設置校からは鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部15名、中国学園大学12名へ資格証を発行した。更新制については、平成23年度取得者79名の資格証カードを再発行した。発行時期の違いがあり、本来再発行となる28年度については昨年度更新済みである。専門育成の更新を迎え、該当者（遊び指導2名）には実績報告書を提出していただくように案内した。

【成果・課題】

協会資格の変更により、資格種別が従来の「放課後児童指導員」「放課後児童指導員〈上級〉」2種類から、新資格3種類分と仮認定（支援員研修未修了者）と計6種類に増え、複雑化したため、煩雑にならないような管理方法が必要である。

◀資格養成課程▶

【目的】

放課後児童指導員資格を大学で取得できるようにすることを目的としている。そのため、資格取得が可能となる養成課程の設置に関する業務を行っている。

【概要・内容】

- ①養成課程設置校3校の設置更新料や年会費の請求。質問への連絡対応など。
- ②設置を検討する学校からの問い合わせに対する対応。
- ③設置取消を検討する学校からの問い合わせに対する対応。
- ④表彰者2名への賞状、記念品の授与。

【成果・課題】

- ①鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部および佐賀女子短期大学について、設置取消申請書の提出があり、

受理している。鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部については、令和2年度までに入学した学生の資格養成は継続となる。

- ② 今後に備え、養成課程の継続や教員の変更手続き等に関する規定を明確にする必要がある。
- ③ 連絡協議会の詳細が不透明なまま会費を請求したため、提示が求められている。
- ④ 養成課程の設置を検討する大学等からの質問に対し、迅速に回答できる体制を整える。
- ⑤ 設置申請の手引きの改訂に取り組むとともに、連絡協議会総会を開催できるようにする。

《資格認定者管理》

【目的】

放課後児童指導員資格認定者（登録会員）の情報管理

【概要・内容】

令和3年度までの資格認定者1,123名の情報管理と、登録会員の年会費引き落とし手続き。

【成果・課題】

令和3年度の年会費を各会員の郵便局口座から自動引き落としするための手続きを行なった。59名が未徴収（年度末退会者を除く）。未徴収者には郵便にて連絡しており、2年未納者で3年目となった方には、年度末で自動的に退会＝資格無効となる旨を伝えた。令和3年度末での退会者は30名（内資格失効15名）となっており、支援員研修スタート以降、退会する方が増えている。

■放課後児童指導員研修事業

《都道府県放課後児童支援員認定資格研修事業》 委託事業

【目的】

国のガイドラインに沿った「放課後児童支援員認定資格研修」を都道府県からの委託を受け開催するもの。プロポーザルに参加し、滋賀県・鳥取県・岡山県・広島県・徳島県、随意契約で島根県・高知県からの委託を受けた。

【概要・内容】

各県での開催数・場所・受講者数は以下となっている。

県・会場数	開催場所	開催日数	受講者数
滋賀県3会場	大津市・守山市・米原市	4日間×3会場	258名
鳥取県2会場	オンライン開催（休日1開催、平日1開催）	4日間×1会場 8日間×1会場	106名
島根県9会場	松江市2会場・出雲市2会場・浜田市・大田市・益田市・雲南市・隠岐の島町	4日間×7会場 8日間×2会場 ※一部、リモートによる同日開催あり	225名
岡山県4会場	オンライン開催（休日2開催、平日2開催）	4日間×2会場 8日間×2会場	276名
広島県7会場	広島市2会場・呉市・東広島市・三次市・福山市・オンライン開催	4日間×7会場	596名
徳島県2会場	徳島市・美馬市	6日間×2会場	93名
高知県1会場	土佐市 ※初日のみ、土佐市といの町の2会場で分散受講を実施。	4日間×1会場	67名

【成果・課題】

前年度に引き続き、新型コロナウイルスのなかでの開催となり、高い緊張感と予防対策のなかでの実施となった。拝借会場によっては使用人数の制限が設けられたため、受入数に制限がかかる会場もあった。加えて、今期はじめてオンライン形式で研修を開催したことにより、運営面が大きく変わったため、実際に実施してみてわかる課題も出てきた。一方、オンラインでの研修開催については新型コロナウイルス感染症の状況を考えるとやむを得ないということで、受講者から理解が得られていた。そのため、新型コロナウイルス感染症対策や研修実施の効率化の観点から、ICT を活用し行うことが今後にも必要になるため、今期の課題を改善して運営していく必要がある。

《フォローアップ研修事業》

【目的】

登録会員の方へのフォローアップ研修を行う。

【概要・内容】

登録会員へのフォローアップ研修を実施した。開催地、参加者数は以下である。

開催地域	開催日	内容	参加者数
オンライン	4月24日	「あそびこそさいこうのみかた」学童保育で伸びる こどものちから 講師：中山芳一・中山勇魚	不明
岐阜	5月16日	クラブの目標を徹底具体化！ わたしのクラブの行動指標をつくる！！ 講師：中山芳一	中止

【成果・課題】

新型コロナウイルスの影響もあり、対面式での開催を積極的に行うことは難しく、岐阜で予定されていたフォローアップ研修は中止となった。逆にオンライン研修が普及するなか、今後は開催地域の実情に左右されずにこちら主導で開催することができると考えられる。

《放課後児童支援員等資質向上研修》 委託事業

【目的】

岡山県、島根県、広島県からの委託により、放課後児童支援員等の資質向上を図ることを目的とした「放課後児童支援員等資質向上研修」を開催した。

<岡山県>

①新・放課後子ども総合プラン合同研修

【概要・内容】

新型コロナウイルス感染予防の観点から YouTube による研修動画配信となった。2月19日（土）0時から2月27日（日）24時までの視聴期間を設け、『イライラしない声のかけ方、かかわり方 一気になる子どもや発達障がいのある子どもとかかわるために一』（申込 489名）、『新型コロナウイルス感染症対策から見る！ 一これからも生かせる感染症対策一』（申込 389名）、『子どもの活動中のリスクマネジメントを学ぶ！ 一起こり得ることを徹底予測一』（申込 429名）の3つのテーマについて、研修動画を配信した。

【成果・課題】

YouTube による研修動画配信とすることで、受講者が集合することなく、感染リスクを回避しながら、

学びの機会を提供できた。申込者数は506名と前年までと比べて大幅に増加した。また、視聴回数も日を追うことに延びており、繰り返し見ている方や、その後クラブでの未受講者の方も見るなど、復習や情報共有に役立てられていた。一方、オンラインでの研修方法も色々あるなかで、その時の受講人数や講義内容によってもどの方法がいいのか選択に悩む点もあり、ハード面、ソフト面ともに運営側も受講する側にもスキルが求められ、課題も残った。

②初任者・中堅者研修

【概要・内容】

初任者、中堅者と階層別での研修を行った。初任者については実施当初から同じ内容で行っている。中堅者については2年毎に内容を変えて行っている。

階層別	地域	開催日	内容	参加者数
初任者	オンライン	1月30日	午前 職場倫理、職務内容 講師：中野健汰 午後 育成支援の基本と実際 講師：籠田桂子	90名
中堅者	オンライン	1回目： 2月6日	職員集団のリーダーとなるために（講義・演習） 講師：中山芳一	117名
		2回目： 2月20日	育成支援の記録、実践の事例検討（講義・演習） 講師：中山芳一	115名

【成果・課題】

新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、オンラインでの研修に切り換えて行った。想定以上にZOOMミーティング機能に対応できる方が多く、接続での大きな不具合はなかった。今後もコロナ禍の研修形態としてはオンラインが主流になっていくと予想されるため、今回の課題をもとに受講にあたっての案内や事前テストなどをより工夫していく必要がある。

また、申込にあたっては、例年と同様に、受講クラブの偏りが見られた。

<島根県> 島根県放課後児童支援員等キャリアアップ研修

【概要・内容】

1回目は放課後児童支援員と放課後子供教室の方と対象としており、2回目は支援員のみの内容となっており、2回通して参加し課題を提出された方へ修了証が発行された。

地域	開催日	内容	参加者数
松江会場	1回目： 1月16日	・子どもとの対話スキルを磨こう ・安全マップを活用して連携を図ろう 講師：中山芳一	25名
	2回目：オンライン 2月11日	・職員集団のリーダーとなるために ・職員集団の意思疎通と相互研鑽 講師：中山芳一	15名
浜田会場	1回目： 1月15日	・子どもとの対話スキルを磨こう ・安全マップを活用して連携を図ろう 講師：中山芳一	17名
	2回目：オンライン 2月12日	・職員集団のリーダーとなるために ・職員集団の意思疎通と相互研鑽 講師：中山芳一	15名

【成果・課題】

1回目は例年通り、会場に集合する対面式での研修だったが、2回目については、オンラインで実施した。2回目は急遽のオンラインでの研修に切り換えて、接続テスト日も設けてなかったため心配して

いたが、想定以上に ZOOM ミーティング機能に対応できる方が多く、1名を除いて、接続での大きな不具合はなかった。なお、2回目の研修について、会場での受講を並行して行っていないため、オンライン受講に対応できなかった者 11名を対象に令和4年度中の研修実施を予定している。レポートから見る受講者の理解度、アンケートから見る受講者の満足度ともに高かったと言える。

<広島県> 広島県放課後児童支援員等資質向上研修

【概要・内容】

主に施設主任を対象とする資質向上研修。当初は広島会場・福山会場の2会場を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防対策としてオンライン開催へ変更となった。

地域	開催日	内容	参加者数
オンライン開催1	1回目： 11月13日	職員集団のリーダーとなるために（講義・演習） 講師：中山芳一	13名
	2回目： 12月11日	育成支援実践の事例検討（講義・演習） 講師：中山芳一	13名
オンライン開催2	1回目： 11月23日	職員集団のリーダーとなるために（講義・演習） 講師：中山芳一	30名
	2回目： 12月12日	育成支援実践の事例検討（講義・演習） 講師：中山芳一	30名

【成果・課題】

研修内容についてはいずれも評価が高かった。想定以上に ZOOM ミーティング機能に対応できる方が多く、接続での大きな不具合はなかった。少人数であったためフォローもしやすく、グループワークも合間に盛り込んで行えた。

《ガイドブックの作成・発刊》

【概要・内容】

放課後児童クラブにおける日常的な危機管理の在り方を盛り込んだ職員向けのガイドブックの作成、発刊を行った（倉敷市と合同）。放課後児童クラブで適正な運営がなされているか自己診断できる他、岡山・島根・広島各県の資質向上研修でも活用された。また、ガイドブックの内容に対応した研修動画も作成し、ガイドブックとセットで販売を開始した。

【成果・課題】

岡山・島根・広島各県の資質向上研修で合計292名が使用したほか、会員・支援員研修受講者・自治体等から計490冊の注文を受け、販売した。今後も研修等で活用を予定している。

■放課後児童健全育成事業

該当する事業はなし。

■その他本会の目的を達成するための事業

《放課後児童クラブ第三者評価事業》

【目的】

放課後児童クラブの質の向上を目的に、放課後児童クラブの育成支援内容に関する第三者評価を行う。

【概要・内容】

厚労省から出された放課後児童クラブの第三者評価ガイドラインをベースに昨年度使用のものから修正を図り行った。実施先は、ながおキッズクラブの2支援（第2、第4）と埼玉県入間市と業務委託契約を結び、金子学童保育所2支援（第1、第2）であった。

【成果・課題】

実施先への結果報告書は送るが、認定証や認証マークなどの評価結果公表に向けては保留のままとなっている。ただ今後は各自治体で認証を受けた第三者評価機関が行うであろうと予測されるため、本会の立ち位置としては「クラブの質向上のためのコンサルタント事業」として出していくものとする。

《メールマガジンの発行》

【目的】

会員への情報提供と会員同士の交流

【概要・内容】

5月より隔月で6回発行（67号～72号）内容は、

- ・理事長だより
- ・各種研修、セミナーのお知らせ
- ・シリーズ 支援員研修各科目のポイント
- ・研修の報告、感想 など

【成果・課題】

隔月定期発行だが、研修の申込み以外については、会員からの反応は特にない。会員管理システムにより、不達メールと原因の詳細が確認できるため、配信率は98%になっている。

《ホームページの運営》

【目的】

社会に対して、本協会の活動を幅広く提供する。

【概要・内容】

最新の情報を提供するためトップページ「お知らせ」を、年7回程度更新を行った。研修会等の企画運営のページを業者へ依頼し修正を行った。フェイスブックによる情報発信は年4回行った。

【成果・課題】

事務局で行えるのは「お知らせ」の部分だけなので、その他の修正は依頼する必要があるが、情報共有できていない現状にある。第三者評価に関する項目も未掲載のままである。